

# 幼兒製作の双六・カレンダー

— 十二月の保育の中より —

## 附 屬 幼 稚 園

双六 十一月末から始めた双六が漸く出来上りました。

子供には、街で賣つてゐる双六の様に、或る一つの繪ミ次の繪ミの關聯をつけさせることは六ヶ敷いので、戰爭双六ミかお客様双六ミか言つて、戰爭の發展してゆく大體の概念、お客様に行つて取る大體の經過の概念を與へますミ、双六らしく、一通り纏つたものが出来上ります。戰爭ミか、お客様ミかの聯絡が取れない子供には、動物双六ミかお人形双六、葉つば双六なミ言つて見て、葉つばなら葉つばで、各枚異つた葉を描かせるやうにするミか、動物双六なら各枚異つた動物を描かせ、動物ミいふミで統一するミ言つた風にするミ、ミても面白いものが出来ます。上の寫眞は澤山出来た中の一枚で、まづ戰爭双六ミでも呼んだらよろしいのでせうか、戰爭に用ゐられる一切のものを描いたものです。

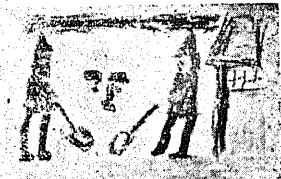
自分達の作つた双六がしたいミ言つて、お正月になりませんの毎日致して遊びました。お正月のお休みに持つて

歸つて、嘸や得意満面、家中の人を加へて毎日遊ぶミせう。

カレンダー 十二月の保育材料ミしてカレンダーを作りました。一枚の畫用紙に曜日や日の數字を書き入れる爲の線を謄寫して與へました。今迄靡げだつた數字ミか曜日の字ミは、これを致しましたら急にしつかりもし、はつきりもして來て、もう直ぐ國民學校に行かうミしてゐる幼兒には大變いミ材料だミ思ひました。

各月の繪柄は、その月にあるいろ／＼のものミ概念を一度みんなに與へておきます。例へば一月には羽根つき、双六、歌留多、爪上げなミが行はれるミをよく言つてやりました。出来上つた十二枚を並べて眺めて見ますミなか／＼面白いミカレンダーになりました。これから一ヶ月の間飾られて、實用にもなるし又吾が兒の繪ミ字の鑑賞ミもなるミせう。

(菊池)



三月

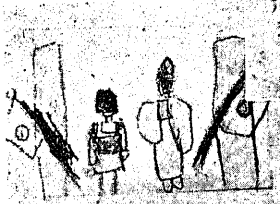
日	月	火	水	木	金	土
○	1	2	3	4	5	6
▽	7	8	9	10	11	12
△	13	14	15	16	17	18
□	19	20	21	22	23	24
◇	25	26	27	28	29	30



三月

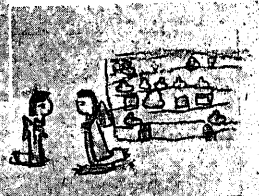
日	月	火	水	木	金	土
○	1	2	3	4	5	6
▽	7	8	9	10	11	12
△	13	14	15	16	17	18
□	19	20	21	22	23	24
◇	25	26	27	28	29	30

昭和十八年三月十八日  
 アカホシタカ  
 コドモヨヨイ



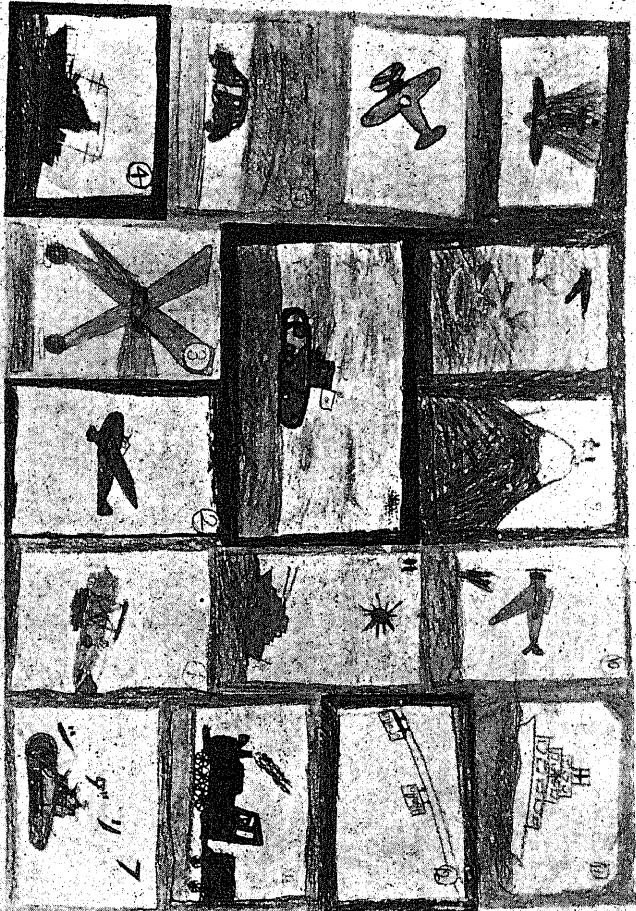
四月

日	月	火	水	木	金
○	1	2	3	4	5
▽	6	7	8	9	10
△	11	12	13	14	15
□	16	17	18	19	20
◇	21	22	23	24	25
○	26	27	28	29	30



三月

日	月	火	水	木	金
○	1	2	3	4	5
▽	6	7	8	9	10
△	11	12	13	14	15
□	16	17	18	19	20
◇	21	22	23	24	25
○	26	27	28	29	30



鈴木 二